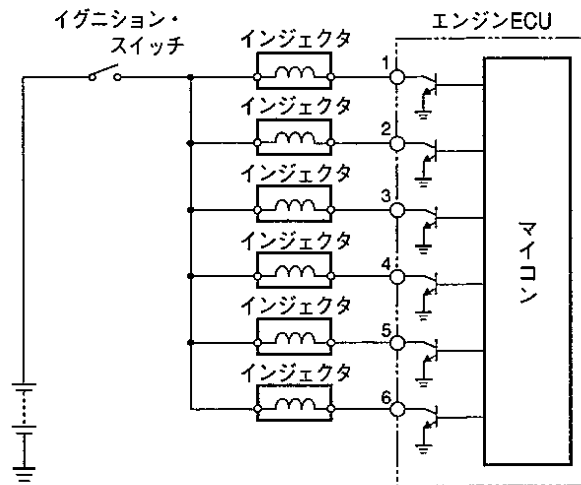


[No. 31] 「エンジンが不調である」という自動車の点検方法に関する記述として、**不適切なものは**次のうちどれか。



- (1) エンジンが振れていたので、パワー・バランスを実施し、不具合気筒の判別を行い、不具合気筒についてインジェクタの作動音、スパーク・プラグの火花、圧縮圧力を点検した。
- (2) インジェクタの作動音がない気筒については、インジェクタのコネクタを外し、図を参考にして、イグニション・スイッチ ON でインジェクタのコネクタの+側電源電圧を点検したところ 12V であったので、インジェクタ単体の抵抗点検を行った。
- (3) インジェクタ単体及びインジェクタの電源側が正常であるにもかかわらず作動音がない気筒については、図を参考にして、イグニション・スイッチ ON 時のエンジン ECU 端子電圧を点検したところ 12V であったので、エンジン ECU は正常だと判断した。
- (4) エンジン ECU の O_2 センサ信号の電圧点検を行ったところ 1V 一定であったので、リッチの故障探究を行った。

答 (3)

エンジン ECU 端子電圧を点検したとき 12V あったからといって、エンジン ECU が正常であると判断することはできない。

例えば、内部のトランジスタが断線していた場合でも 12V が得られる。